



じゃまくさいけど読む！「知ること=知って・感じ・考えること」は大切です。  
「世界のすべての子どもにペンと本を」その②  
不屈の少女 マララさん

普通の子どもと同じように、私にも夢がありました。あつころ、私は医者になりたいと思つていました。でも、今は政治家になりたいです。それも、良い政治家に。

学校に行けないと聞いたとき、もう医者にはなれないと思つました。将来なりたつものになれることはなくなると。十三歳か十四歳で結婚するやうな人生を送るのだらうと。学校にも行けず、本当になりたつものにもなれず。だから、声を上げやうと決めたのです。

自分の経験を通じて、自分たちの権利のために立ち上がるべきだと、世界中の子どもたちに伝えたいです。ほかの誰かを待つべきではない。子どもたちの声はより力強い。弱く見えるかもしれないけれど、誰も声を上げない時に声を上げれば、その声はずつと大きく響き、みんなが耳を傾けざるを得なくなるのです。

私のメッセージはこつです。世界の子どもたちよ、権利のために立ち上がれ。

私がもらったのはノーベル平和賞ですが、ノーベル賞委員会が私にだけくれるわけではありません。この賞は、声なき全ての子どもたちのためのものです。子どもたちの声を聞かなければならないのです。私は子どもたちのために語り、子どもたちと共に立ち上がり、自分たちの声を届けやうという彼らの運動に加わります。

世界は子どもたちの声に耳を傾けなければなりません。子どもたちには権利があります。良質な教育を受け、児童労働から解き放たれ、人身売買の被害に遭わない権利が、幸せな人生を送る権利があるのです。だから私はこつした子どもたちと共に立ち上がります。今回の賞はほかでもない、子どもたちのためのものです。勇気を与えるものなのです。

最後に、尊敬するカイラシュさんと電話でお話したことをお伝えします。名字を正確に発音できなくてごめんなさい。よろしければカイラシュさんとお呼びします。

たつた今電話で、全ての子どもが学校に通い、良質な教育を受けることがいかに大切か、話し合いました。また、子どもたちがどれほど多くの苦難に遭い、世間から知られていないか、についてです。こつした問題に取り組み、子どもたちが良質な教育を受け、こつした苦難に遭わなくてもいいやう、二人で一緒に行動しやうと決めました。

それから、カイラシュさんがインド出身、そして私がパキスタン出身ということで、両国の強い関係を築こつと努力していくことも決めました。

ご存じの通り、両国の国境は緊迫し、状況は実に残念な方向へと進んでいます。私たちはインド、パキスタンの関係が良好であつてほしいのです。緊張状態にあるのは本当に残念で、悲しいことです。

両国には対話をし、和平について話し合い、発展について考え、開発を進めていってほしいと思つからです。戦いではなく、教育や開発、発展に専念することが重要です。それがお互いにとって良いことなのです。

ですから、二人で決めました。カイラシュさんには、インドのモディ首相に十二月のノーベル平和賞授賞式に出席するやうお願いしていただきます。そして、私もパキスタンのシャリフ首相に出席をお願いすると約束しました。

私からも両首相に、共に参加していただくやうお願いします。私は心から平和を信じています。寛容と忍耐（の力）を信じています。両国が発展するためには平和で良好な関係が何より重要です。それが、両国が成功し、発展するための道筋です。謹んでお願いします。どうか、二人の耳に届き、二人が耳を傾けてくれますやうに。

最後に、皆さまの支援に心から感謝しています。私は自分がノーベル賞に値するとは思わないと言つてきました。今もそう思っています。

でも、この賞は、これまで私がやつてきたことに対するものだけではありません。活動を前に進め、継続できるやう希望と勇気を与えてくれるものでもあります。何百人、何千人、何百万人もの人に私は支えられ、私は自分を信じることができ、たつた一人ではないことを知ることができました。あらためて、皆さまにお礼を申し上げます。

◆物理や化学や医学の「進歩や技術」は、確かに人類に大きく貢献するが、それと同様にマララさんの活動も女性たちの希望の象徴となつた。しかし、この象徴はタリバンに狙われる象徴となつてしまい、彼女とその家族に対する脅迫行為はエスカレートした。

◆タリバン勢力は公然と、マララさんを殺害することを宣言し、スクールバスの中にいる14歳の少女の頭を銃で射ち、重傷を負わせた。が、・・・皮肉な事に、この事件を期に世界中の平和の象徴となつた。

◆当時、映画女優で有名なアンジェリーナ・ジョリーは事件を受け、パキスタン、アフガニスタンの少女のために5万ドル（約400万円）を寄付したらしい。

◆寄付金は、パキスタン、アフガニスタンにおける女性教育のために闘つた女性、少女を表彰する賞の創設などに使われるという。

「世界の人々の心を動かす力」とは何か？

そのヒントは、彼女のスピーチの中にあるのだと思つ！！

昨日の帰宅途中、期日前投票（31日は投票できない）に行つていた。

もし、君たちに選挙権があるなら、31日の衆議院議員選挙は、どの党に投票しますか？若者の投票率が上がれば、選挙結果が変動すると言われてる。マララさんは当時17歳君たちもあと3年で選挙権が与えられる、共に日本の未来の為に学ぼう